

次代に受け継がれる遺産



お人形様
魔除けの神様。身の丈4mになります。なぎなた、刀を持ち、両手を広げ、通せんぼのしぐさをしています。顔は大鬼の形相で、外から悪いものが入ってこないように、にらみをきかせています。屋形と朴橋(ほおのきばし)、堀越の3ヵ所にあり、それぞれ違う表現になっています。毎年4月保存会により、衣替えが行われています。



灯籠流しと花火大会
田村地方の夏の風物詩となっているイベントです。大滝根川に流される、大小3,000個の灯籠の光と夜空に打ち上げられる花火の大輪が、幻想的かつ雄大な光景を作り出します。



ときわお盆のタベ
会場には出店が並び、歌謡ショーや打ち上げ花火が会場を盛り上げます。子どもからお年寄りまで中央のやぐらを囲み、浴衣や法被を着て盆踊りの輪を作ります。



安倍文殊堂稚児行列
平安時代中期に建てられた安倍文殊堂は、日本五大文殊のひとつです。例大祭では、地元の子どもたちがきらびやかな衣装に身を包み、樹齢400年の杉並木の参道を登っていきます。



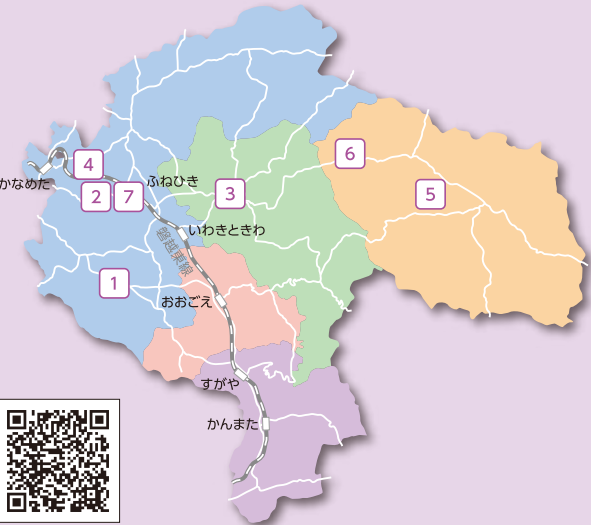
岩井沢三匹獅子舞
毎年10月最終日曜日、天日鷲神社の祭礼に奉納される三匹獅子舞。少なくとも250年以上の伝統を有し、東日本大震災で一時中断しましたが、地元の人たちの力で復活しました。市の無形文化財。



大亀神社例大祭
神輿渡御に使われる神輿は、江戸時代初期に建立され、市の文化財に指定されています。



大鎧矢神社の夫婦獅子舞
大晦日には神社境内で、正月3日には各氏子宅などで奉納される夫婦獅子舞。お囃子とかけ声に合わせて仲睦まじく舞われます。市の無形文化財。



いにしえからの文化を守り、伝える

人々の営みと思いは、やがて形となって残ります。それが伝統であり文化です。

市内に残っている伝統文化は、先人たちの思いの結晶なのです。

昔から人は、豊かで幸せな生活を祈り、それが果たされれば感謝してきました。

地域の安寧を守るお人形様。五穀豊穡を祝う祭礼に残る風習。

それらは、まさに人の思いの名残です。人は、願い、祈り、喜び、感謝し、共感するたびに、そ

れを形に残してきたのです。

ひょっとしたら、その原始的で切実な思いは、現在も未来も変わらないのかもしれませんが、その遺産は、今も受け継がれていて、さらに次代に受け渡そうとしているのですから。